

令和3年8月19日
 課名 環境県民局高等教育担当
 担当者 担当課長 徳田
 内線 2751

県内大学・短期大学におけるワクチン接種（職域）の状況について

1 要旨・目的

県内大学・短期大学におけるワクチン接種（職域）の実施状況について報告する。

2 現状・背景

国においては、自治体の負担を軽減し、ワクチン接種の加速化を図るため、企業や大学等による職域接種を推進している。（申請の受付は、6月25日17時をもって停止中）

3 概要

【職域接種の概要】

- 実施期間：6月21日～
- 使用ワクチン：モデルナ社製ワクチン（4週の間隔を空けて2回接種）
- 実施要件等：
 - ▶ 医師・看護師等医療従事者や運営スタッフ等の必要な人員及び接種会場を自ら確保
 - ▶ 学内連絡・対外調整役を担う事務局を設置
 - ▶ 同一会場で2回接種し、最低2,000回（1,000人×2回）程度の接種を基本

(1) 対象者

学生・教職員等

(2) 事業内容（実施内容）

区分		大学数	実施状況
実施済み・実施中		7校	・実施済み：広島大学，広島国際大学 ・実施中：安田女子大学・短大，広島文教大学， 広島修道大学・広島都市学園大学（合同）
申請済み	承認済み	5校	・国の承認済み（8/13）
	取下げ	5校	・3校が取下げ済み，2校が取下げを検討中

※ 上記を除く8校は、申請を見送り、他大学での接種や一般接種により対応

- 「実施済み・実施中」の7大学・短大においては、約38,000人の接種を実施
- 「申請済み」の10大学・短大のうち5校については、接種スケジュールに目途が立たない中、申請を取り下げの動きが出ている（一般接種等で対応）。
- 学外への拡大を予定する大学・短大（安田女子大学・短大，広島国際大学，広島修道大学）において、他大学の学生・教職員のほか、県立・広島市立・私立学校の教職員など、約3,300人に接種
- 県立広島大学（広島・庄原キャンパス）・叡啓大学については、申請を取り下げ、他大学での接種や一般接種で対応〔三原キャンパスは実施予定（8/13付けで国承認済み）〕

(3) スケジュール

令和3年6月21日～

(4) 予算（国庫・単県）

—

(5) 今後の対応

大学・短期大学等の状況を把握した上，ワクチン政策担当課と連携して，引き続き，相談対応や必要な支援を行う。

4 その他

—